

「知恵と工夫で山遊び」シリーズ ダイジェスト版

ネイチャービレッジ様名

作者 森林インストラクター 久保田 伯一

アマゾンにて販売中

全7作

知恵と工夫で山遊び



知らないところに土地を求める場合、近隣関係とりわけ人間関係が気になることです。近隣の人間関係は都会であろうが、里であろうが、山間部であろうが同じです。よく「郷に入れば郷に従え」といいます。田舎暮らしをする場合、地元の人たちとの関係が難しいため失敗したということを知ることがあります。おそらく失敗した人たちは、大なり小なりどこにいてもそれなりのトラブルをひきずる人たちと思わざるを得ません。自己主張をし過ぎず、相手を尊重する気持ちを忘れずに信頼関係を築いていくという気持ちを持っていれば、どこに行っても大丈夫だと思います。人物はどこにでもいて、おそらくやっかみ根

25

着地してからの苦勞と喜び

今、山の土地は安く購入できるようですが、私の時はまだバブルの時代であったため、山の土地でもそれなりの金額で売買されていた。私は最初に300坪を購入しました。ここで、毎週末はキャンプ生活でした。私は当時、会社員であったため毎週土曜日の早朝に家を出て、日曜日の日暮れとともに山を下りるといった生活パターンを続けた。最初の1年目は土地整備や電気・水道設置などのインフラ整備、材料にする丸太の調達などをしながら小さな家づくりの準備を進めた。

2年目にやっと仮小屋づくりが完了した。仮小屋は建坪3坪にした。3坪の中に2坪の寝室と1畳のトイレと1畳の玄関を設置した。この小さな家は、これから拠点とする家を作るための仮住まいにする目的で造った。1

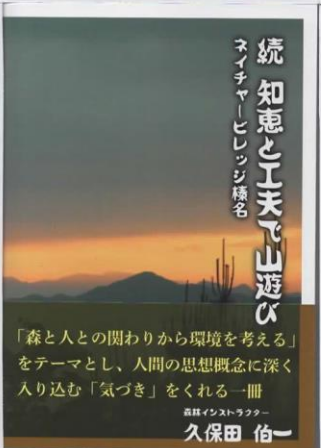


仮小屋

山遊びに彩を添えてくれる知恵と工夫

さて、山遊びに彩を添えてくれる知恵と工夫について、森林インストラクターが教えるアイテムを整理してみたい。森林インストラクターが森の案内人として必要になるカテゴリーは、森林、林業、森林内の野外活動、安全及び教育と分類できる。森林というカテゴリーには、森林生態、森林の遷移、森林の機能、日本の森林、樹木、地球環境と森林、森林内の動物・野鳥・昆虫・キノコ、森林についての歴史や文化という分野があります。これらについて学習することにより森林を知り、森林環境教育への知見を得ることが出来る。森づくりが憩いの森、リクリエーションの森、学習の森を掲げて行われ、そこには多くの森林ボランティアや環境ボラ

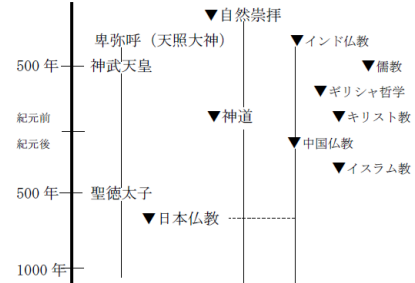
続 知恵と工夫で山遊び



日本人の自然観と信仰

日本民族は、神棚に神を祀り、仏壇に祖先を祀る。これは神道と仏教の流れを汲んだもので、日本全国に普遍的に存在する神社は地域住民の全員を「氏子」として宗教法人の管轄機関の文部科学省に届けている。また、日本仏教はインドで成立した仏教が形を変えながら中国に伝わり、さらに日本に伝来したものである。自然崇拜の神道は日本固有のものであり、世界において発展してきた哲学や宗教とは全く異なる形態を持っている。

以下に、日本の天皇制と神道の歴史、および世界の宗教の歴史とを比較してみた。



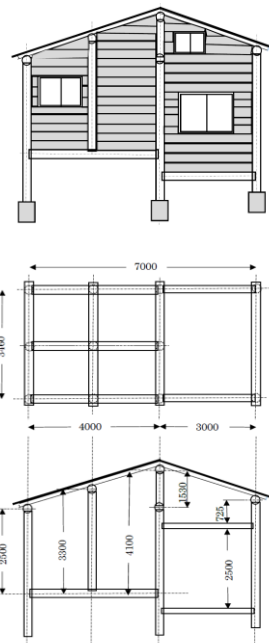
11

穴窯は、燃焼効率を上げるために周りを土で積み固めた。



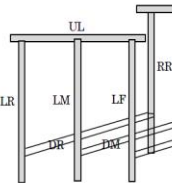
穴窯焼成

陶芸の魅力は粘土からいろいろな形をつくりだせるということだと思います。私はろくろを使って作る場合に指先が伝わる粘土の感触が好きです。粘土を一定の厚さに成形していく段階で、指先に精神を集中している状態が好きです。陶芸を趣味にしている人は多くいます。形だけでなく、釉によって色彩の美しさを演出できる妙技があります。ともかくにも、大変に奥深いものがあります。私が穴窯焼成をするのは、粘土に含まれる成分と燃やす材に含まれる成分が燃焼の状態、つまり温度や酸化や還元の状態によりその反応に異なる変化を作り出し、陶器に色を吹き込んでくれるように感じるからです。世間一般では、



図面を作成する
図面は基礎が完成してから作成します。基礎を建築するというのではなく、傾斜の高低差をしっかりとレベル取ります。丸太の長さを4mとしているため、傾斜の低いところの独立基礎を手作りするわけですから出てくるため、基礎の原寸に合わせログハウスの基準寸法があり、この図の現物寸法で寸法修正をします。

丸太を加工する



神話は未来の道しるべ

これは、アメリカの神話学者 キャンベルの言葉です。

メソポタミア神話

森に入った2人の英雄ギルガメシュとエンキドゥが香柏(ヒノキ)を伐採する音を聞いて、レバノン杉を守る森の番人フンババが立ちちはだかる。2人の英雄は太陽神シャマシュの助力を得てフンババを倒した。しかし、フンババが死んで、封印が切られた森は、その立派な香柏(ヒノキ)を求めて伐採が進み、森林が無くなるという危機に陥ってしまった。フンババ退治の物語は世界最古の自然破壊の記録として後世に残った。そして今、イラク、シリアの荒廃した大地がその歴史的結末である。

「古事記」ヤマタノオロチ伝説

ヤマタノオロチをササノオミコトが退治舞台となったのは、出雲の国・肥河(斐伊) 肥河で恵の川は、よく洪水のたびに氾濫するの暮らしを脅かしていた。ヤマタノオロチ 荒れ狂う肥河(斐伊川)の状態を指してまた暴風雨の神であったササノオミコト して洪水を鎮めて人々が豊かに暮らせる土

問題②: 枝いっぱい花を咲かせるので、この名が付いたとか、薬より先に花が「まず咲く」ことから、これがなまったという説もある。

???ナク

ヒント : ビストルー赤手→線→??

良薬は口に苦し

意味: 孔子の言葉で「良薬は口に苦けれども病に利あり。忠言は耳に逆らえども行いに利あり(良薬は苦いが飲めば病気を治してくれる。忠言は聞きづらいが、行動のためになる)」とある。

英語: Good advice is seldom welcome.

東洋においても西洋においても、昔から人々は植物を薬として用いてきた。多くの草木から、いろいろな薬がつけられています。例えば、アスピリンですが、古代ギリシャ時代からヤナギの樹皮を

問題⑤: 枝を折るとよい香りがすることから名づけられたクスノ科の落葉低木。若葉を乾燥して保存し、熱湯で戻して食べることが出来る、トロシバの名で知られる昔の非常食。

ヤマアザミ

ヒント : 樹木の名前を記号で表すと YIMIKS3BIS2

梅檀は双葉より芳し

意味: 白檀(びやくだん)は発芽のころから香気を放つ。大成する人は幼少のときから優れているというたとえ。

梅檀(センダン)は日本原産のセンダン科の落葉高木ですが、この樹木には香りはない。白檀はインド原産の半寄生植物で、日本原産の梅檀とは全く別物です。白檀はチャンダナと呼ばれていたため、中国に渡った際にチャンタンとなって「梅檀」の文字が充てられた。その後、日本に伝わった際に「梅檀」をセンダンと読み間違えた事により、両者が混同されている。

英語: Genius displays itself even in childhood. Great person show greatness in youth. (偉大なる人は幼少にして偉大なり)

香木として、大変に貴重な木です。日本国内で材がりのある樹木はクスノ科の樹木です。樹木は材や花はそれぞれ特徴のある匂いを持っています。

裏面に続く

火に学ぶ
知恵と工夫で山遊び

火に学ぶ
知恵と工夫で山遊び
ナイチャー・ヒレッジ 橋名

「火に学ぶ」
かまど、囲炉裏、薪ストーブ、ランタン、
ロケットストーブ、炭焼き窯、陶芸穴窯、火祭り、他
火のいろいろな満載

画装イラストレーター
久保田 伯一

人工知能とともに
知恵と工夫で山遊び

人工知能とともに
知恵と工夫で山遊び
ナイチャー・ヒレツジ 種名

人類史上最大のバンデミックから
50年後の日本再生へ
森と人との関わりを新しい視点で描く

著者 インストラクター
久保田 伯一

山から海へ
知恵と工夫で山遊び

山から海へ
知恵と工夫で山遊び
ナイチャー・ヒレンジ様名

「豊かな森が豊かな海を育む」
山の幸・山菜のことや海の幸・海水魚のこと
知りたいことがいろいろ満載

英語イラストラクター
久保田 伯一

詩集
知恵と工夫で山遊び

詩集
知恵と工夫で山遊び
ナイチャー・ビレッジ 様名

山を中心とした活動の知恵と工夫の
足跡を森林インストラクターの視点で
詩を綴るように描いた

久保田・信一

地球誕生から森林ができるまで

45億年前に誕生した地球の気は、高温高压のヘリウムと水素からなっていた。

いたるところで火山が噴火して、二酸化炭素とアンモニアを放出していった。

太陽系にある地球は、太陽からのエネルギーを背景に温度と気圧の関係から、液体の水を地球上に保持しうるゾーンにあった。

45億年前に誕生してから、40億年前までの長い時間、地球の気は化学反応を続け、大気中に多くの水蒸気を蓄積していった。そして、40億年前に地球は冷却期に入り、大気中の水蒸気は凝結して雨となって降り続き、地球上に原始海洋が出現した。

原始海洋が出現すると、その海底では生命が出現した。

海底の熱水噴出孔から出てくる硫化水素やメタン等を利用した化学反応のエネルギーで生きるアミノ酸や核酸等でできた生命が出現した。

これら生命の起源は化学反応や進化を続け、38億年前になるとバクテリアや古細菌が出現した。

それから長い期間を経て、32億年前に藍藻（シアノバクテリア）が出現した。このシアノバクテリアこそが、光合成をする生物で、今の地球の基をつくった生物です。

シアノバクテリアが大量発生して、地球上の酸素濃度は、

創造と破壊の歴史

地球上に人類が誕生したのは、700 万年前でした。

人類は進化を続けて、400 万年前の猿人は安定した直立二足歩行が可能になり、脳も発達した。さらに、200 万年前の原人は脳がさらに発達して、道具を作るようになった。60 万年前の旧人は脳がさらに発達して、手で自由に道具を使いこなせるようになった。

そして、20 万年前にアフリカでホモ・サピエンス（現在のヒト）が誕生した。日常的に広範囲に火を使うようになったのが 12 万 5000 年前頃からであり、ホモ・サピエンスは知能が発達していて、複雑な言語を話すことができた。火の利用は、ヒトの生活を大きく変えて、稲作を機に人口は爆発的に増加の一途をたどる。

1 万年前の人口は 100 万人くらいだったそうです。その後およそ 5500 年かかって、地球上の人口が 1 億人になった。キリストが誕生した 1 世紀の世界人口 3 億人は、ゆっくり増加して 18 世紀産業革命前（1750 年）の世界人口は 7 億人であった。

この時代の創造と破壊の歴史はヨーロッパから世界に広がる形で進行していった。

5 世紀までの古代ヨーロッパは、古代ギリシャ時代からヘレニズム時代、そして古代ローマ時代へと変遷する時代であった。

火と生活

焚き火

20 万年前にアフリカでホモ・サピエンス（現在のヒト）が誕生した。日常的に広範囲に火を使うようになったのが 1: 万 5000 年前頃からであり、焚火はそのころから生活に欠かせないものとして、人類の発達と生活の向上に寄与してきた。現代においては、主にキャンプにおいて、癒しとコミュニケーションツールとして楽しまれている。焚火による暖かなぬくもりは、夏の夜であっても人の心を和ませてくれる。また、燃えている火の揺らぎや、薪がはじける音が癒しを与えてくれる。夜空に上る火の光は神秘的な誘いでもある。現代社会では、住宅街での焚き火は禁じられているが、つい最近 50 年くらいまでは、燃料に薪を使う生活が残っていて、よく焚き火が見られた。焚火でよく芋を焼いて食べたものでした。



右の囲火亭は外に設けたもので、バーベキュー用につくったものですが、調理用の焚き火をするところです。

森林整備ロボット

朝の覚醒からいつもどおり、朝のストレッチ 30 分後、テレビの画面は、2071 年 5 月 19 日 am 7:03 を表示。居間にいた K2（私の家専属のヒューマノイドロボット）を入れてもらったコーヒーを飲んでいる。

今日の予定は、K2 の運転で 8 時 30 分に家を出て、ロボット管理センターに立ち寄る。ここでは、森林管理ロボットのアクセス権を登録し、シュマバの森に向かう。私の家は群馬県の中核住居地域にある集合住宅である。このマンションは複合型商業施設で、中心部の建物は駐車場、ショッピングセンター、飲食施設、ホール、遊技場などの商業施設が集合している。家から K2 が取り巻くように、マンション 20F が建っている。1 棟当たり 2000 戸のマンションのため 1 区画で 4 万世帯の 15 万人くらいの人々が暮らしている。このような複合商業施設をもつ中核住居地域は、群馬県内に 6 箇所あった。家から K2 が住民共用自動車にアクセスして、自動車が自動運転で現れた。K2 の運転でロボット管理センターに向かった。高速道路に入ると完全自動運転モードとなり、一定の車間距離をもって、一定の速度で、自動車は整然と走っていた。ロボット管理センターまで 30 分で着いた。高速道路を下りてからも自動運転でロボットが

If Then アルゴリズム	基本的な動作の制御をプログラミング
推論・探索アルゴリズム	移動ロボットがスタートからゴールに行くまでの移動情報をプログラミング
機械学習アルゴリズム	実験によるシミュレーションで、経験と知識を習得し、現場で変化する条件から適切な条件設定ができるようプログラミング
ディープラーニング	大量に集積されたデータの中から、最も適切で合理性のあるパターンを早く、正確に取り出す技術

豊かな森が豊かな海を育む

山から海へ循環

地球上では、太陽エネルギーをその源に、大気や水が絶えず回っている。この循環により熱や物質が移動することによって地球のバランスがとられている。

赤道と北極・南極を比べてみると、赤道に届く太陽エネルギー量は大きく、気温も高くなる。赤道と北極・南極の温度差により大気の流れが生じて、熱を運び、雨や風をもたらします。このように、地球上では大気の大循環が行われているのですが、ここに地球の自転が影響して、大気の流れは複雑になります。貿易風・極東風・偏西風など、熱帯性低気圧や前線などの発生により、気温や降水量の分布に大きな影響をもたらし得ます。地球上の水も、大きな流れをもって移動して地球上の大地は、個体（氷）・液体（水）・気体（水蒸気）で空と陸、海を循環しています。

1年間に降る雨や雪は陸地に111兆トン、海に385兆トン合わせて496兆トンです。同じく1年間に蒸発する量は、陸上の地面（蒸発）や植物（蒸散）から71兆トンからの蒸発が425兆トン、合わせて496兆トンに戻ります。そして、40兆トンの水が川から流れています。森に降った雨は、森林の葉や腐葉土の穴あきムシで、川に出て、海に流れます。森から川を通じて、

サケ養殖上

森に降った雨は、森林の根で、川に出て、年間40兆トン以上を循環しています。これは川の水を蒸発して雲になって再び降ってくる。そのようなサイクルで、漁業資源を確保するための技術開発・研究が行われており人工的に作られたサケが日本でも全国的にサケノリや平青魚では集魚力のあるサケの餌としての注目を浴びています。漁獲量は北海道で98%となる。サケマセムは国内養殖の

[illegible]

スーパーライトショアジギング

堤防から沖の潮目を狙って、メタルジグをキャストして小型の青物やメバル、ムツッコ、カサゴなどが釣れる。

時間帯は朝マズメがベスト。朝マズメは夜湾内に入っていた小魚が餌を求めて動き出し、その小魚を食べに回遊している青物も岸近くまで入ってくる。

メバルやムツッコを狙う場合は、夜間がメインとなり、日の出までの時間がベスト。

メタルジグは5g～15gを中心に3g～20gくらいを使います。

アカハタ、カサゴ、ムツっこ

8月9日 4:00～6:00 伊豆堤防

日の出 4:59

生きる姿勢（社会）

大人の行動とは何と云ふか、あるものなのか、自己主張をするための氣遣いが何とも儼然なことか、自由に生きたとは一握りの能力あるものだけの特権のように鈍く輝く人生における選択の分岐は数知れずある。

試験で振り分けられることあり、人間関係で振り分けられることもある、間違つた判断で大切なものを失ふこともあるが、その後の努力が実を結び、次の判断でより価値の高いものを得ることもある。

何が災いで、どこが災いであるのかも確証はない。

人生の分岐の先に何が待ちかゝつて見当もつかない。

失敗してもあきらめずに次のチャンスと呼び寄せる努力は、失敗を忘れさせてくれる努力をしていれば、突如良い結果がくることもあるなんて淡い期待もケセラセラ

勇気ある軌道修正はじつくり、しっかりと、全力で臨むもの。

人生には結着がある。

いつまでも頑張れないのが人生。

ブレない生きる姿勢さえあれば、それが人生になる。

13

春がきた
待ちに待った春がやってきた
山菜が芽を出し、木々も芽吹き、地面のぬかるみもなくなった
夕刻でも焚き火で暖をとりながらのバーベキューを楽しむことが出来るようになった
山の中は、とても静かで、小鳥のさえずりが響く
小鳥のさえずりで目覚める早朝のすがすがしさは格別だ
早朝の朝は、気温が低く、空気がピリッと張りつめているように感じる
眠たい目も何故かすがすがしく目覚めている
あさのひと時も、焚火がよい
朝の目覚めは早くから
冷たい水が肌をつく
焚き火の炎が、鋭く肌に刺さる
コーヒーの香りがくぐる心の憩いは遠い国からの物語のように響く
五感が騒ぐ春の朝には
山のけむりが満天の空高く舞い上がっていました

人生という旅

知らない土地に来て、知らない人に会って、一から築く物語
人との交わりはそこにも日常的な物語
知らない土地がら怖がつて人と交わる物語
真摯な心で学ぶ姿勢があれば築ける物語

新しい体験からステップアップして、仲間を増やし、人と繋がるう
人生はよく旅にたとえられ、そこに冒険をすることもあります
そこに歴史を語ることもあります
そこに人ととの出会いを語ることもあります
新しい体験からステップアップして、仲間を増やし、人と繋がるう
豊かに生きること、けつしてたやすくない
生活の中に活用しながら生かしていくものを見つけないことも、けつしてたやすくない
もしかしたら、そこに切り拓いていかなければならないものがあつたのかもしれない
新しい体験からステップアップして、仲間を増やし、人と繋がるう
人と繋がることで、見えてくる景色もある